

## 第4回 応急仮設住宅の住環境等に関するPT会議報告資料


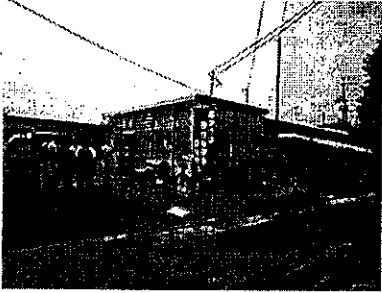
## 宮 城 県

	頁
1 寒さ対策等ハード面の進捗状況 . . . . .	1
(1) 寒さ対策	
(2) バリアフリー対策	
2 買い物支援（ソフト面）の状況 . . . . .	2～7
(1) 買い物支援策一覧	
(2) (1)のなかで優良・先進事例の報告	
3 自治会の設立等の状況 . . . . .	8～11
(1) 県・市町村の自治会の設立支援策	
(2) 自治会への活動支援及び先進的な活動事例報告	
(3) 入居者データベース構築	
(4) 被災者支援の観点からの自治会についての今後の課題	

## 第4回 応急仮設住宅の住環境等に関するプロジェクトチーム会議報告資料

項目	1 寒さ対策等ハード面の進捗状況
内容	<p>(1) 寒さ対策</p> <p>■進捗状況と完了見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 12月5日現在、332団地、18,481戸(84%)が着工済みであり、年内に完成予定である。</li> <li>○ 寒さ対策のうち、断熱材追加補強、窓の二重サッシ化・複層ガラス化、玄関先の風除室整備、トイレの暖房便座化について、優先的に工事している。</li> <li>○ 通路舗装・排水溝整備工事については、団地ごとに条件が異なるため、準備が整い次第、順次着手している。</li> <li>○ 暖房器具については、12月から順次発送し、年内には整備される。</li> </ul> <p>■対応予定なしとなっている項目についての理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「居室への畳」については、市町の判断により、設置しないところがある。</li> <li>○ 「暖房器具」が未対応のものについては、グループホームの団地がほとんどであるが、エアコンの追加設置又は当初設置のエアコンにより対応している。</li> <li>○ 「エアコンの追加」未対応のものについては、それに代わるものとして、暖房器具により対応している。</li> </ul> <p>(2) バリアフリー対策</p> <p>■進捗状況と完了見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各市町において、入居者台帳等による対象世帯の状況把握やバリアフリー対策を支援するパンフレット配布による啓発活動等により、団地毎の入居者の個別事情に応じたバリアフリー対応を行っている。</li> <li>○ 玄関の手摺りスロープ、トイレの手摺り追加ステップ等設置、浴室のバリア軽減のバリアフリー対策については、全て年度内に工事完了予定である。</li> </ul> <p>■対応予定なしとなっている項目についての理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建設当初から、標準仕様として全戸の浴室やトイレに手摺を取り付けたほか、一部の住戸(約10%)の玄関前には車椅子用のスロープを設置するなど、バリアフリーに配慮した対応をしているため、新たな対応の必要がないところがある。</li> </ul>

第4回 応急仮設住宅の住環境等に関するプロジェクトチーム会議報告資料

項目	2 買い物支援（ソフト面）の状況												
内容	<p>2 買い物支援（ソフト面）の状況</p> <p>(1) 買い物支援策一覧</p> <p>① 住民バス等の運行による足の確保について</p> <p>■ 仮設住宅からの通院、通学、買い物等の足については、各市町とも既存住民バスの経路変更や新規路線の追加などにより確保している。</p> <p>各市町では、今後も、要望と利用実態等を把握しながら、対応を検討する方針である。</p> <p>主な市町の対応</p> <table border="1" data-bbox="422 833 1401 1370"> <thead> <tr> <th>市町村名</th> <th>取組の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市</td> <td>・市内中心部の仮設住宅を循環するバス路線を運行したほか、路線バスの利用が不便な地区から市内中心部へ向かう新規路線を運行。</td> </tr> <tr> <td>塩竈市</td> <td>・仮設住宅から駅、病院等への乗合タクシーを新規に運行。</td> </tr> <tr> <td>多賀城市</td> <td>・市中心部から離れた仮設住宅に対応する新規路線を運行予定。</td> </tr> <tr> <td>東松島市</td> <td>・行政の委託を受けた商工会が市内循環バス及び乗合タクシー「らくらく号」を走らせている。</td> </tr> <tr> <td>安川町</td> <td>・仮設住宅を經由する町内巡回バスを運行している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 仮設住宅におけるカーシェアリングの運用</p> <p>■ 石巻市内の仮設住宅において、一般社団法人等の支援を受けて買い物や通院などの足として平成23年7月から試行していたカーシェアリングを10月から本格的に運用開始している。</p> <p>③ 民間企業による買い物支援の取組（送迎バス・仮設店舗・ネットショッピング等）</p> <p>■ 各市町において、民間企業等が仮設店舗の設置、宅配サービス、送迎バスの運行、ネットショッピング等による、仮設住宅入居者向けの買い物支援を実施している。</p>	市町村名	取組の内容	石巻市	・市内中心部の仮設住宅を循環するバス路線を運行したほか、路線バスの利用が不便な地区から市内中心部へ向かう新規路線を運行。	塩竈市	・仮設住宅から駅、病院等への乗合タクシーを新規に運行。	多賀城市	・市中心部から離れた仮設住宅に対応する新規路線を運行予定。	東松島市	・行政の委託を受けた商工会が市内循環バス及び乗合タクシー「らくらく号」を走らせている。	安川町	・仮設住宅を經由する町内巡回バスを運行している。
	市町村名	取組の内容											
石巻市	・市内中心部の仮設住宅を循環するバス路線を運行したほか、路線バスの利用が不便な地区から市内中心部へ向かう新規路線を運行。												
塩竈市	・仮設住宅から駅、病院等への乗合タクシーを新規に運行。												
多賀城市	・市中心部から離れた仮設住宅に対応する新規路線を運行予定。												
東松島市	・行政の委託を受けた商工会が市内循環バス及び乗合タクシー「らくらく号」を走らせている。												
安川町	・仮設住宅を經由する町内巡回バスを運行している。												
	 												

主な取組の事例（宮城県、宮城県商工会連合会調べ）

市町村名	取組の内容
石巻市 (旧石巻市地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月、生活協同組合が仮設住宅入居者への買い物支援のため、仮設住宅の隣接地に「共同購入ステーション」を開設。最大で週5回商品の受け渡しができる仕組み。12月時点で約40世帯が利用。その他、仮設住宅の約300世帯に宅配サービスを提供している。</li> </ul>
(雄勝地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケット等2社が仮設住宅への送迎バスを運行している。</li> <li>・町内外業者の移動販売が不定期に行われている。</li> </ul>
(牡鹿地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅にスーパーマーケット2社の送迎バスが運行されている。</li> <li>・仮設住宅（小湊給分地区）に地元業者が自力で店舗を開設している。</li> <li>・11月、石巻市鮎川浜に鮮魚店や飲食店など16店舗が入る仮設商店街「おしかのれん街」がオープン。敷地は市が提供し、建物等は海外の慈善団体から資金援助を受けたNPO法人が整備した。計画以上の来店客で連日賑わっている。</li> </ul>
気仙沼市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月、仮設住宅敷地内でコンビニエンスストアの仮設店舗がオープン。</li> <li>・11月、市の要請に応じて、ドラッグストアチェーンが仮設住宅隣接地に医薬品や食料品等を販売する仮設店舗を設置。</li> </ul>
(本吉・唐桑地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の若手グループが仮設住宅を回り定期的に移動販売。現在、少数ながら継続中。</li> <li>・事業所によっては、仮設住宅から送迎を行っている。</li> <li>・町内外業者の移動販売が不定期に行われている。</li> </ul>
岩沼市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅が大型店に近い場所に設置されているため、買物の利便性は比較的良い。</li> <li>・町内外業者の移動販売が不定期に行われている。</li> </ul>
東松島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活協同組合の移動販売車が巡回している。</li> </ul>
亘理町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅が大型店、商店街に近い場所に設置されているため、買物の利便性は比較的良い。</li> </ul>
山元町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年7月から、仮設住宅入居世帯に対して、ネットショッピングができる端末と無線LAN環境の無償提供が開始。</li> <li>・町内外業者の移動販売が不定期に行われている。</li> </ul>

<p>おながわちよう 女川町</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人が仮設住宅（清水地区）に理美容、雑貨の仮設店舗をオープン。町内の小売業グループが運営を行っている。</li> </ul>
<p>みなみさんりくちよう 南三陸町</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月、登米市の地元スーパーマーケットが被災者の買い物支援として、南三陸町と登米市・石巻市の店舗間、登米市の仮設住宅と登米市内の店舗間を無料で送迎するシャトルバスを運行開始。併せて、南三陸町在住の客に対し、カタログにより注文を受け翌日に届ける買い物代行サービスも実施している。</li> <li>・ 町内外業者の移動販売が不定期に行われている。</li> <li>・ 8 月、仮設住宅付近にコンビニエンスストアの仮設店舗がオープン。</li> </ul>

④ 仮設店舗の整備の取組（仮設施設整備事業の概要）

- 中小企業基盤整備機構は、市町村の要請に基づいて仮設店舗、仮設工場等の施設を市町村と共同で整備している。完成した仮設施設は、市町村を通して被災した中小企業者等に無償で貸与されている。
- 宮城県の仮設施設整備事業の状況（平成 23 年 12 月 7 日更新）
  - 7 市 5 町の計 86 カ所（629 区画）で整備（予定を含む）。86 カ所の団地のうち、30 カ所以上の団地で施設が完成し、事務所や店舗等が稼働している。
  - 12 月 9 日現在、仮設住宅付近で買い物が可能な仮設店舗がある団地は 4 団地にとどまるが、今後 15 団地で開設予定。詳細は別紙 1 のとおり。

主な取組の例（宮城県、宮城県商工会連合会調べ）

市町村名	取組の内容（○印は開設済みのもの）
<p>いしづきし 石巻市 （雄勝地区）</p>	<p>○11 月、石巻市雄勝に震災で被災したスーパーやすし店、八百屋などの 11 店舗が入る仮設商店街「おがつ店こ屋街（たなこやがい）」が開設された（ただし仮設住宅からは離れており、バスなどを利用する必要がある）。</p>
<p>けせんぬまし 気仙沼市</p>	<p>○11 月下旬、「復興屋台村気仙沼横丁」がオープン。飲食業など 19 店舗が入居している。</p>
<p>なとりうし 名取市</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年 1 月に仙台空港アクセス線美田園駅付近に仮設店舗がオープン予定。</li> <li>・仮設店舗入居者で移動販売の体制を構築し、仮設住宅入居者への移動販売も計画している。</li> <li>・また、プレミアム商品券（2 割増商品券）を発行し、仮設住宅世帯（約 800 世帯）にチラシのポスティングを行うとともに、販売所も近くに設ける。</li> </ul>

ひがしまつしまし 東松島市	○10月、仮設住宅3ヶ所の敷地内に、津波で建物が流された食料品店や理容店など計9店舗の仮設店舗がオープン。
むらりちやう 萱理町	・東郷地区仮設住宅をはじめ町内の仮設住宅に仮設店舗（食料品、理容等入居）を40店程設置予定。（平成24年1月オープン予定）。
やまもとちやう 山元町	・山元町民グランド内仮設住宅に仮設店舗（食料品、理容等入居）を設置（年内オープン予定）。今後、2~3ヶ所に仮設店舗を設置し、買物利便の向上を図ることとしている。
しちがはままち 七ヶ浜町	・12月中旬に仮設住宅に隣接した仮設店舗（7店入居、鮮魚、青果、理容、美容、整体、花、飲食。）をオープン予定。仮設住宅のコミュニティの場としても機能するよう配慮している。
おながわちやう 女川町	・女川高校グランドに交番、銀行、郵便局、仮設店舗（50店入居予定）を設置（仮設店舗については、平成24年1月オープン予定）。

(2) (1)のなかで優良・先進事例の報告

② カーシェアリングの実施状況については、別紙2のとおり。

別紙1 独立行政法人中小企業基盤整備機構 仮設施設整備事業の状況

平成23年12月9日現在

	団地数(整備中も含む)	区画数(事業者数)	稼働中		稼働中の団地のうち、仮設住宅付近で置換可能な仮設店舗がある団地	今後整備予定のうち、仮設住宅付近で置換可能な仮設店舗を配置予定の団地	備考
			うち稼働中の団地数(※気仙沼市のみ完成済の団地数)	稼働中			
仙台市	3	22	3	0	0	0	応急仮設住宅の付近にある団地もあるが、入居しているのは事業所や工場等。
石巻市	8	60	4	0	0	1	12月10日オープン予定の「立町二丁目」は旧石巻中心部にあり、仮設住宅に近いわけではないが、歩いて行けない範囲ではない。仮設住宅以外の付近の住民の買い物にも重要な役割を果たすと思われる。食品(海産物・パン・果物・総菜等)、化粧品販売、貴金属、化粧品などの物販業、弁当屋や焼肉店などの飲食業が21店舗入る予定。 11月中旬にオープンした「雄勝(雄勝店二屋街)」は雄勝の中心部にあるが、仮設住宅からは離れており、歩いて通うのは難しく、バスなどを利用する必要がある。スーパーマーケットや海産物など11店舗が入居している。
塩竈市	5	33	2	0	0	0	飲食業や小売業が入居して営業中の「本町」と「海岸通」の団地は仮設住宅からは離れた場所にある。
気仙沼市	32	251	(8)	1	6	6	12月24日オープン予定の「南町1丁目」団地は、物販や飲食業等が入居予定。その他、飲食業や小売業の店舗等が入居する5団地が12月～1月にオープン予定。
登米市	3	11	3	0	0	0	
東松島市	3	9	3	3	0	0	「響」焼肉屋、コンビニエンスストア、床屋が入居。「緑が丘」床屋、コンビニが入居。「界堀」食堂、魚屋、床屋、酒屋が入居。3団地とも仮設住宅付近で営業中。
名取市	2	47	0	0	0	1	平成24年1月中旬にオープン予定の「下増田」は、仮設住宅に近く、各種小売業者や理美容業が入居予定。
女川町	13	68	13	0	1	1	1月中旬にオープン予定の女川高校グラウンドの団地では、食料品や日用品の小売業等が入居予定。
南三陸町	9	70	1	0	2	2	12月中旬営業予定の「歌津伊里前」は仮設住宅に近く、衣料品・家電・食料品・水産物等の小売業者8業者が営業予定。 2月上旬営業予定の「刺前下」は仮設住宅に近く、飲食業や小売業の32店舗が営業予定。
亶理町	3	40	1	0	1	1	12月末営業予定の「築港通」では喫茶店やふれあい市場が営業予定だが、基本的には観光客向けで、仮設住宅からは遠い。 2月中旬稼働予定の「栗郷」団地は仮設住宅付近に建設中。飲食業や郵便局など、仮設住宅入居者が身近に利用できる店舗が29店舗営業する予定。
山元町	4	12	0	0	2	2	12月末に完成予定の理美容業や小売業者が入居する2団地は、仮設住宅の生活支援を念頭に仮設住宅付近に建設している。
七ヶ浜町	1	6	0	0	1	1	12月11日営業予定の「吉田浜」は仮設住宅の近くに建設。花屋・八百屋・魚屋・美容室・整体院・床屋・ラーメン屋の7店舗が営業予定。
合計	86	629	30	4	15	15	

※団地数は中小企業基盤整備機構ホームページより(12月7日現在)。各団地の状況は市町村より聞き取り。

掲載日:2011年10月21日, 面名:M106X0, 記事ID:K20111021M106X0020(C) 河北新報社

# 住民同士の交流も促進

## 仮設住宅カーシェアリング

### 石巻で本格運用始まる

石巻市流留の万石浦公園仮設住宅など20日、入居者有志が、車を共同で利用するカーシェアリングの本格的な運用を始めた。7月から試行した結果、買い物や通院などの足として有効と判断した。住民の交流促進にもつながっているといい、支援する日本カーシェアリング協会（神戸市）は市内の仮設住宅での運用拡大を目指す。

使用する小型乗用車1台は、中古車売買取引のガリバー（東京）が、被災地の中古車を贈る支援活動の一環として提供した。万石浦公園のほか、近くの渡波第1、渡波第2の3仮設住宅に入居する10人が参加登録しており、利増田敬さん（60）ら入居者3人が管理する。万石浦公園では試行後、住民が定期的にごみ拾いや懇談会を行う活動も生まれ、自治会も今月発足した。自治会副会長も務める増田さんは「住民同士のコミュニケーションが活発化した。入居者同士で誘い合って出かけるという使い方も始めていきたい」と話す。ガリバーは今回計5台を提供する。日本カーシェアリング協会は、企業・個人から贈られた車で試行している市内6カ所の仮設住宅でも本格運用

を目指しており、ほかの仮設住宅にも活用を呼び掛ける。



贈られたばかりの乗用車の運転席で感觸を確かめる増田さん（右）20日、石巻市流留の万石浦公園仮設住宅



## 第4回 応急仮設住宅の住環境等に関するプロジェクトチーム会議報告資料

項目	3 自治会の設立等の状況								
内容	<p>(1) 県・市町村の自治会の設立支援策</p> <p>■自治会設置状況 (H23. 11. 29現在)</p> <p>&lt;応急仮設住宅400団地&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>○設立済み</td> <td>215団地 (54.0%)</td> </tr> <tr> <td>○地域の自治会への組み込み</td> <td>94団地 (23.6%)</td> </tr> <tr> <td>○設立準備中</td> <td>88団地 (22.1%)</td> </tr> <tr> <td>○未設置</td> <td>1団地 (0.3%)</td> </tr> </table> <p>■主な支援策</p> <p>○コミュニティ復興支援員設置</p> <p>新潟県中越大地震の「地域復興支援員」を参考に、平成23年8月から東松島市と南三陸町において、緊急雇用創出事業を活用し、それぞれ4名ずつ「復興まちづくり推進員」を配置した。</p> <p>(活動例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅を巡回し被災者の声を行政に繋ぐ橋渡し役</li> <li>・お茶飲み会等での住民相談</li> <li>・仮設住宅入居者の住民マップ作成</li> </ul> <p>○サポートセンター等整備による地域支えあい体制づくり事業</p> <p>12月5日現在、県内12市町で46箇所開設している(13市町、49箇所整備)。サポートセンター等における活動によって、自治会設立や自治会活動の活発化を促進している。</p> <p>(コミュニティ支援に係る主な活動例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動支援、サロン活動、居場所づくり</li> <li>・生活相談、生活・行政情報の提供、行政手続支援、就労支援</li> </ul> <p>○被災地区コミュニティ情報サポート(仙台市の例)</p> <p>被災者の元の居住地域や現在の居住地域の情報、生活再建支援情報などを紹介するフリーペーパーを配布し、住民同士のつながりの維持や新居住地におけるコミュニティづくりを支援する。</p> <p>(2) 自治会への活動支援及び先進的な活動事例報告</p> <p>■事例1 名取市箱塚桜団地支えあい活動</p> <p>【活動形態】</p> <p>団地自治会、班長、みまもり隊、防火協力隊が中心になり、近隣の自治</p>	○設立済み	215団地 (54.0%)	○地域の自治会への組み込み	94団地 (23.6%)	○設立準備中	88団地 (22.1%)	○未設置	1団地 (0.3%)
○設立済み	215団地 (54.0%)								
○地域の自治会への組み込み	94団地 (23.6%)								
○設立準備中	88団地 (22.1%)								
○未設置	1団地 (0.3%)								

会にも、活動への参加の呼びかけを行っている。

**【経過・特徴】**

自治会長が就任後、意識して、住民に集まってもらう場を設定。住民全員で課題を出し合って、必要な活動をひとつずつ生みだし、プログラムは、すべて住民が協力し、実施している。

**・活動内容**

① 子ども関連

チャイルドパーク、ちびっこひろば、寺子屋開上（学習塾の開催）

② 母親関連

フラダンス、レクダンスなどの各種教室の開催

③ 高齢者対策

訪問看護師による健康相談、受診や買い物の送迎バス

**■事例2 気仙沼市気仙沼公園仮設住宅**

**【活動形態】**

自治会が主体となり、NPO団体、ボランティアグループ、社会福祉協議会、行政が協力している。

**【経過・特徴】**

当初、住宅内でゴミ出しのルールがなく、駐車場不足による無断駐車などのトラブルがあったため、居住者で話し合いが行われ、自治会の設立や住宅内の様々なルール化がなされた。

1ヶ月交代で自治会の班長を担うなど、1人ひとりの参加意識を高めるように工夫している。

買い物の不便を解消するため、自治会として、コンビニの仮設店舗の営業許可を行政に働きかけた。※仮設住宅内に仮設店舗開設（7/27）

**(3) 入居者データベース構築**

本県では、各市町村が応急仮設住宅の入居希望を取りまとめる際の調査票様式（別紙）を、今回示された仮設住宅管理台帳（イメージ）基礎データの項目とほぼ同様の内容で示しており、調査票をベースに市町村では入居者台帳等を整備している。

市町が各種サービスの提供につなげられるよう、個人情報の保護に留意しつつ、情報の活用方法について、市町と随時協議し調整していく。

**■県内市町における台帳項目の例**

① 仮設住宅基礎データ

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅団地名称、住宅番号（号棟・室）、住宅住所、入居年月日</li> </ul> <p>②入居世帯に関する基礎データ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災前の住所、入居者世帯人数、入居者（世帯主、氏名、続柄、年齢、性別、生年月日、勤務先等）、緊急時の連絡先、駐車場（区画番号、車両番号等）、特記事項</li> </ul> <p>(4) 被災者支援の観点からの自治会についての今後の課題</p> <p>① 関係団体との連携</p> <p style="padding-left: 2em;">市町やNPO等関係団体と連携のとれた、ふれあい交流や見守り活動の事業など、各種事業の提供</p> <p>② 住宅再建など自立生活に向けた情報の提供</p> <p style="padding-left: 2em;">災害復興住宅や就職などの生活関連情報のワンストップ化や、被災前の居住地の情報提供など、被災者が自立に向けて必要となる情報が提供できる体制づくり</p>
--	---

応急仮設住宅入居希望調査票

別紙

調査年月日:平成 年 月 日

整理 No.

世帯主名(よみがな)					
現住所					
入居希望者	氏名	生年月日(年齢)	年齢	続柄	要介護・障害者手帳の状況
被害の程度		全壊・半壊・一部損壊・その他( )			
住家の状況		自家・借家・その他( )			
入居の必要性		※ 他に住む家が(ある・ない)			
入居希望期間(2年以内)					
入居希望要件 第1希望 ※該当項目を○で囲んで下さい	住居区分	民間賃貸・プレハブ住宅(どちらか○で囲む)			
	希望地区				
	希望する規模				
	その他の事項				
入居希望要件 第2希望	住居区分	民間賃貸・プレハブ住宅(どちらか○で囲む)			
	希望地区				
	希望する規模				
	その他の事項				
備考(手すり, スロープの希望等)					